

2024 年 11 月の糖尿病センターだより 9 号で、リアルタイム持続血糖測定器の進化についてご紹介しました。自己血糖測定はもはや“痛くない”“負担の少ない作業”に変貌しつつあるのですが、それでもやはり指先に針を刺し、少量の血液を血糖測定用チップに吸い込ませて血糖値を測定する、いわゆる“SMBG”は決してなくならないと思います。

理由は、リアルタイム持続血糖測定器は、やはり少しハードルが高いからです。我々の施設のように、糖尿病・内分泌患者さんが年間延べ 1 万人弱もお越しになる糖尿病センターですと、糖尿病内科医師は勿論、糖尿病チーム医療に従事するメディカルスタッフも、リアルタイム持続血糖測定器について熟知しておりますし、導入件数も桁違いに多く、トラブル対応もお手の物です。

ですが一般の開業医さんは、たくさんの病気を診る中で、時々糖尿病に出会う程度だと思います。開業医さんにお聞きすると、「飲み薬の糖尿病治療まではうちでもするけれど、複雑な注射製剤による糖尿病治療まで行くと手が出ないね。血糖測定も SMBG なら何とかできるけれど、リアルタイム持続血糖測定器までは厳しいね。」というご意見を頂戴することが多いです。

SMBG を 1 日 2〜3 回して、その結果を自己管理ノートにボールペンで書き

込むアナログな作業、
それに対して、リアル
タイム持続血糖測定
器を上腕背側に装着
して、いつでもスマホ
のアプリで血糖値を



時間	空腹前	食前	食後	就寝前	食事・運動・ストレスなど
1	196	251	152	230	
2	220	238	108	210	
3	201	209	222	132	
4	178	217	196	213	
5	199	223	134	208	
6	153	267	309	285	
7	181	247	174	160	生後1
8	164	172	163	184	生後2
9	171	195	206	223	生後3
10	217	174	138	173	生後4
11	165	184	231	211	生後5
12	152	165	133	168	生後6
13	175	142	188	192	
14	165	132	116	231	
15	136	165	149	196	
16	153	189	121	192	

確認でき、血糖値データをクラウド式血糖解析システムで医療機関と共有する
最先端のリアルタイム持続血糖測定器、その間を埋める存在はないものか？



患者さんが毎日一生懸命書き込んだ血糖値の自己管理ノートを見ながら、主任部長は、なんとか患者さんの

負担を減らしたいと思い続けてきました。そこで…

本日は紹介するのは血糖値データ管理システム“MEQNET SMBG viewer”です

患者さん手持ちの血糖自己測定器の中に保存された SMBG データを、医師が

ノートパソコンに取り出して保存し、SMBG データを表やグラフで視覚化する

血糖値データ管理システム（三和化学研究所とアークレイ株式会社が提供）、そ

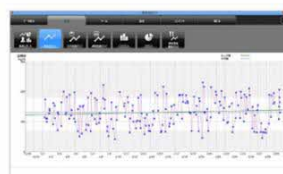
れが MEQNET SMBG viewer です。

MEQNET SMBG viewer を利用すれば、患者さんは確かに SMBG をしなければいけません、少なくとも自己管理ノートに血糖値をボールペンで書き込む作業は必要なくなります。また、測定した血糖値データを管理して解析し、分かりやすく表やグラフでお示しすると共に、血糖値データをもとに患者さんの糖尿病治療を修正し、より良い血糖コントロールを目指すことが出来ます。

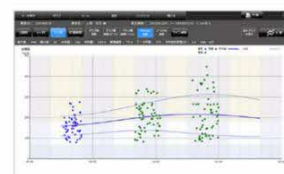
MEQNET SMBG viewerは、SMBGの血糖解析システムです。



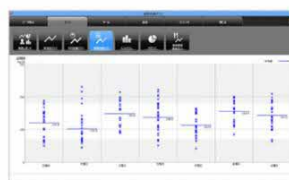
データ表



時系列グラフ



日内変動グラフ



週間変動グラフ



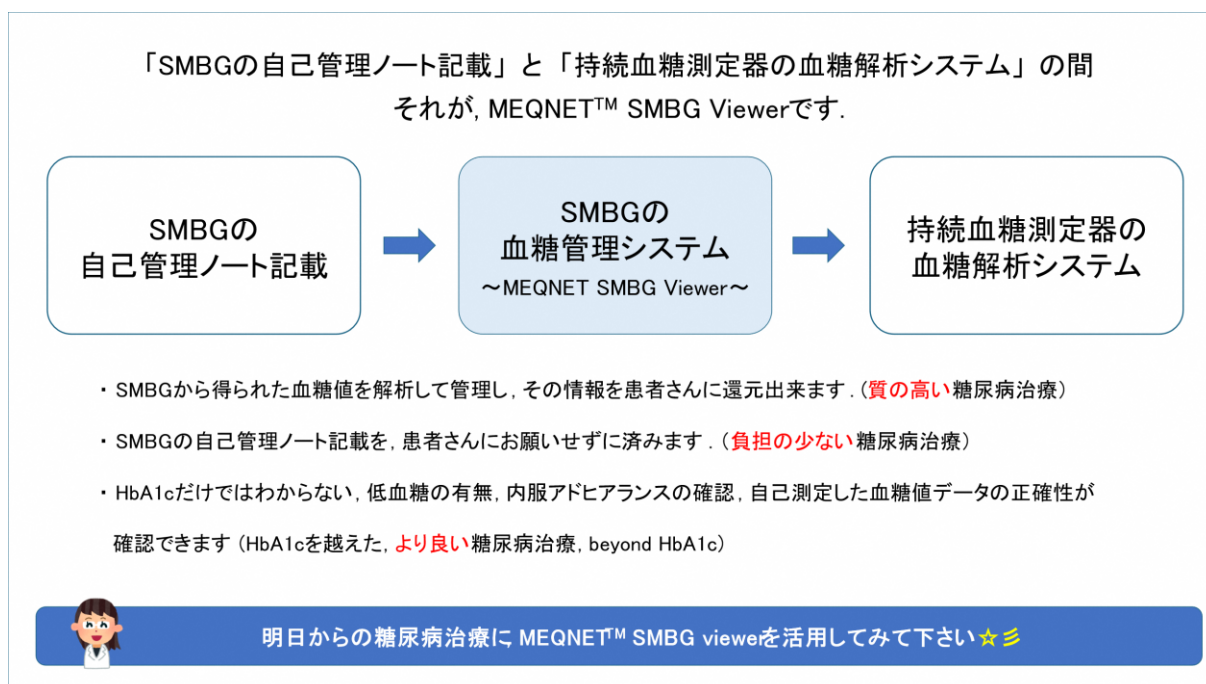
円グラフ

三和化学研究所 公式H.P.より引用

長年SMBGを続けている高齢者糖尿病、週1回のインクレチン関連注射剤のみの糖尿病治療 (FreeStyle リブレの保険適応がない) では、MEQNET SMBG viewerを活用して血糖データを解析します。

主任部長、患者さんが痛い思いをして一生懸命 SMBG して下さった血糖値を、彼らの血糖コントロールを良くするために最大限活用したいという気持ちが強いんです。そして、そのためには自己管理ノートに記載された数字（血糖値）を何となく眺める、昔ながらのやり方から脱却せねばならないと感じています。

MEQNET SMBG viewer を開業医さんにも知っていただくために、2024 年 10 月 MEQNET SMBG viewer を活用した糖尿病治療についてユーザーインタビュー動画を監修しました（株式会社三和化学研究所；医療関係者向け情報、機器・診断薬関連動画「血糖自己測定器から得た血糖値データの管理システム」）。MEQNET SMBG viewer の使い方、適した症例などについて分かりやすくご紹介しております。



様々な血糖測定器と血糖解析システムの進化を 2 回にわたってご紹介してきました。しかしどんなにデバイスが進歩しても、患者さんと医療従事者のコミュニケーションが成り立って初めて生かされます。患者さんと一緒にノートパソコンの画面を見ながら、「今月は夜間低血糖もなく、とても良い血糖コントロール

ルですね！」「もう少し昼食後の血糖値が下がるようにインスリンを増やしましょうか？」などど会話をすることがとても大事です。時代の最先端に行くリアルタイム持続血糖測定器を使って、患者さんと昔ながらの対面診察をする。この急速な糖尿病治療の進化の中で、変えていかねばならないことと、変えずに続けていかねばならないことを、これからもしっかり見極めていきたいと思います。